

月	単元・題材名 (時数)	目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	【地理的分野】 1 世界の姿(6) ①私たちの住む地球を眺めて ②いろいろな国の国名と位置 ③緯度と経度 ④地球儀と世界地図の違い 2 日本の姿(6) ①世界の中での日本の位置 ②時差でとらえる日本の位置 ③日本の領域とその特色 ④都道府県と県庁所在地	- 世界と日本の地域構成に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 - 世界と日本の地域構成に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 - 世界と日本の地域構成に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ②我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。	①世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	①世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ②日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5	3 人々の生活と環境(10) ①世界のさまざまな生活と環境 ②暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～ ③乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～ ④温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～ ⑤寒い地域の暮らし～シベリアでの生活 ⑥高地の暮らし～アンデス山脈での生活～ ⑦世界各地の衣食住とその変化 ⑧人々の生活と宗教の関わり	- 世界各地の人々の生活と環境に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 - 世界各地の人々の生活と環境に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 - 世界各地の人々の生活と環境に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ②世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。	①世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	①世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

6	【歴史的分野】 1 歴史のとりえ方・調べ方 (6) ①私たちと歴史 ②身近な地域の歴史を調べよう	- 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 - 資料から歴史に関わる情報を読みとったり、年表などにまとめたりする技能を身に付けるようにする。 - 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し、表現する力を養う。 - 私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する態度を養う。	①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ②資料から歴史に関わる情報を読みとったり、年表などにまとめたりする技能を身に付けている。	①時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。	①私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
7 ～ 10	2 原始・古代の日本と世界 (20) ①人類の出現と文明の起こり ②日本の成り立ちと倭の王権 ③大帝国の出現と律令国家の形成 ④貴族社会の発展	- 日本列島における国家形成については、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解する。 - 律令国家の形成については、律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などをもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。 - 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 - 古代までの日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。 - 古代までの歴史に関わる諸事象について、よ	①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 ②日本列島における農耕の広まりと、生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 ③律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 ④仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	①古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②古代までの日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	①古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

		りよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。			
11 ～ 1	【地理的分野】 4 世界の諸地域（35） ①アジア ②ヨーロッパ ③アフリカ ④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥オセアニア	空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、よりよい社会の実現を視野に、世界の各地域で見られる地球的課題の要因や影響をその地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付ける。	①世界各地で顕在化している地球的課題は、それがみられる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 ②アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	①アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	①世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
1	【地理的分野】 5 日本のさまざまな地域（3） ① 地域調査の仕方	・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。 ・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。	① 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 ② 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。	① 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	① 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
2 ・ 3	【歴史的分野】 3 中世の日本と世界（19） ① 武家政治の始まり ② ユーラシアの動きと武家政治の変化 ③ 結びつく民衆と下剋上の社会	・武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解する。 ・民衆の成長と新たな文化の形成については、都市や農村における自治的なしくみの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成などをもとに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。 ・中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・中世の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ②南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ③農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	①武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	①中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。